

編集後記 「どっちもこっちも輝け乙女」

雨の多いこの時期の楽しみの一つは紫陽花の七変化。

ご存じの方もいらっしゃるでしょうが、紫陽花の原産地は実はこの日本。そして日本から世界に広まったとされています。桜のような華やかさはありませんが、雨に打たれても鮮やかにしっとりと輝く、そんな趣深い紫陽花もまた日本を代表する花です。

さて、日本代表といえば、サッカー女子W杯が始まりました。

4年前、早起きして眠い目を擦りながらテレビ観戦をした、なでしこジャパンとアメリカとの決勝戦。今まで勝ったことのないアメリカに対して2度リードを許し、そしてついに延長の後半戦で追いついた激闘。同点ゴールは、宮間選手-澤選手の絶妙のコンビネーションと神業のようなシュートでした。その後、追いつかれたアメリカの怒濤の攻撃に対し、体格やパワーで圧倒的に劣りながらも全員一丸で必死になって守る日本。そしてついに時間切れのホイッスル。同点のままPK戦までもつれた、ハラハラドキドキのゲームでした。(°_°;)

プレイはもちろんですが、劣勢の中で「あきらめるな」と周りに声をかけ、仲間を鼓舞し続けた澤選手は、本当にカッコ良かったです。(°_°)/

それにPK戦で日本が勝利した後、歓喜にわくチームから離れ、相手のアメリカチームの一人一人とハグし、健闘を称え合った宮間選手。彼女もまたスポーツマンシップにあふれた素晴らしい選手です。2人だけではありません。彼女たち全員が、手にした金色のトロフィーよりずっと輝いていました。この事務所レターがお手元に届いた頃には結果が出ているのかもしれませんが、今回のW杯でもなでしこジャパンの活躍を願ってやみません。

最近のオリンピック等スポーツ界では、日本の女子選手の躍進が目立っています。ところがまだまだ日本の社会では、必ずしもそうではないようです。

6月4日、企業や自治体に女性の登用目標の設定を義務付ける「女性活躍推進法案」が衆院本会議で全会一致で可決されました。参院に送付され、今国会で成立する見通しとなっています。成立にあわせ、「ポジティブ・アクション加速化助成金」という助成金もスタートします。

女性がスキルアップを図りつつ活躍できるために、いわゆる「ポジティブ・アクション」に取り組む事業主に対する助成金です。「加速化」というネーミングからしても国の意図が伝わってきますが、そのはず。首相官邸のホームページには、「人材の活躍強化 ～女性が輝く日本！～」という言葉が掲げられています。

表紙の写真は、雨が降る日の朝、保育園に向かうお父さんとお子さんです。手をつないだ2人を青紫に色づいた紫陽花が見守ってくれているようです。

紫陽花の花色は開花から日を経るに従って徐々に変化しますが、肥料で土壌の酸度を調整することで色を変えることもできるのだそうです。日本の社会の土壌そのものの質を変えることで、働く女性がいつそう輝ける社会になるのかもしれないね。

紫陽花の七変化のように、日本の女性が輝く・・・あ、あの歌じゃん！ w(￣▽￣;)w ワッ!!

♪ ヤマトナデシコ七変化 絵になるネ きわめつけ
純情・愛情・過剰に異常 どっちもこっちも輝け乙女
(歌：小泉今日子 作詞：康珍化 「ヤマトナデシコ七変化」より)

社会で頑張る全てのやまとなでしこが、どっちもこっちもで輝けますように。(°_°)v
あ、男性も。(ついでかい!!)

アヴニール労務事務所 所長柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com



土壌が紫陽花の
色をカエル・・・